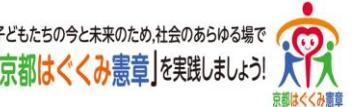


桂川だより

令和4年度
第2回学校評価特別号
京都市立桂川小学校
校長 前川 文孝



アンケート結果集計表

質問ごとの回答の「そう思う」を○、「大体そう思う」を●、「あまりそう思わない」を△、「そう思わない」を▲で表示しています。めざす子ども像（か・つ・ら・が・わ）ごとにまとめました。数字の上段は昨年2月、下段は今回の結果です。

第2回子ども育みアンケートの結果から

学校教育目標

自ら考え、判断し、行動する子の育成

～自分意識をもって行動し、
よりよい未来の創り手を育てる教育の創造～

めざす子ども像

か	感謝する子、感謝される子
つ	つよく、しなやかな心と体の子
ら	しさを認め、つながりを大切にする子
が	学習に進んで取り組む子
わ	わかるように自分の言葉や方法で伝え合う子

過日実施いたしました第2回子ども育みアンケートの結果をお知らせいたします。

京都市の学校教育の重点、及び、本校の学校教育目標に照らし合わせた項目を設定し、「保護者」「児童」「教職員」それぞれの自己評価という形でのアンケートとしています。3者がそれぞれに自分自身の取組やかかわりを振り返り、見直しの視点を明らかにするとともに、今後の取組の改善につなげられればと考えます。

	児童				保護者				教職員						
	質問項目	○	●	△	▲	質問項目	○	●	△	▲	質問項目	○	●	△	▲
か	がっこうは たのしい。	68 62	21 28	6 6	5 4	わが子が楽しく通学できるよう学校での楽しかったことを中心に家庭で話題にしている	42 40	52 53	5 7	1 0	すべての子どもが、楽しく学校生活を送れるよう環境づくりをしている。	35 33	60 67	5 0	0 0
	じぶんから すすんで あいさつをしている。	44 39	32 40	19 17	5 4	家族間でもあいさつをするよう心掛けている。	68 64	30 34	2 1	0 0	自分からあいさつができるように声かけをしている。	30 58	60 38	10 4	0 0
つ	はやねはやおきをし まいにち あさごはんをたべている。	48 49	35 32	13 14	4 5	わが子が、早寝・早起きをし、毎日朝ごはんを食べるようになっている。	62 60	33 34	5 5	0 1	心と体のアンケート結果を指導に生かしている。	22 14	56 71	22 14	0 0
	きまりややくそくを まもって たのしくせいかつしている。	57 55	36 37	6 6	2 1	家庭での決まりや約束を決め、守らせている。	40 36	55 57	5 7	0 0	子どもが、きまりや約束を守って生活できるよう、桂川スタンダードの実践を進めている。	42 17	53 83	5 0	0 0
	じぶんのことは じぶんできめ よいこうどうができる。	48 47	41 41	9 10	2 2	わが子が、できるだけ自分で考えて正しく判断し行動できるように働きかけている。	34 31	60 62	6 7	0 0	子どもが、自分で考え、正しく判断し、行動できるよう支援している。	35 37	60 63	5 0	0 0
ら	ともだちを たいせつにし なかよくしている。	77 75	21 23	2 2	0 1	わが子が友達を大切に仲良くするよう働きかけている。	60 58	39 41	1 1	0 0	互いに思いやり、支え合う学級づくりができる。	29 33	71 67	0 0	0 0
	ともだちの よいところを みつけられる。	52 55	35 35	9 8	4 2	子供の良さを認め、ほめている。	42 42	54 51	4 6	0 0	子どものよさを積極的に見つけ、ほめている。	50 63	40 37	10 0	0 0
が	じゅぎょうは よくわかる。	59 52	34 41	5 6	1 1	わが子が学習を理解しているかを宿題やテストで把握し、支援している。	36 30	58 64	6 6	0 0	教材研究を充実させ、わかる・できる授業の工夫と実践を日々行っている。	11 9	84 87	5 4	0 0
	まいにち かていがくしゅうをしている。	53 53	28 26	13 16	6 5	わが子に家庭学習する習慣がつくよう働きかけている。	39 26	49 62	12 11	0 1	日々の授業と連動した家庭学習課題を与える、計画表の点検をしている。	23 19	59 67	18 14	0 0
	あさくしょいがいの じかんにも ほんをよんでいる。	46 52	27 25	16 15	11 8	わが子が本をよく読むように読み聞かせをしたり勧めたりしている。	27 20	38 46	33 29	2 5	子どもに読書習慣が身につくよう、声かけをしている。	39 29	44 52	17 14	0 0
わ	じゅぎょううちゅう ともだちと かんがえを つたえあっている。	40 42	38 44	16 10	6 3	自分の考えをしっかり伝えられるようになるよう励ましている。	36 37	57 59	7 4	0 0	子ども主体の学び合いの場を設定している。	5 9	68 82	27 9	0 0
その他						HP やお便り・参観日などで、学校の様子や教育方針をわかっている。	22 23	68 72	9 5	1 0	HP や学級通信、懇談会などで、学校の様子や教育方針を保護者に伝えている。	28 38	56 57	16 5	0 0

アンケート結果について

- ・「じぶんからすんでいさつをしている」(児童)、「家族間でもいさつをするよう心掛けている」(保護者)、「自分からいさつができるように声かけをしている」(教職員)のいさつの項目で、高い数値となっていますが、20%の子どもたちが「すすんでいさつをしていない」という結果となっています。学校での様子を見ていると、これよりも多くの子どもたちが「すすんでいさつをしていない」という印象を受けます。学校全体でじわじわと浸透していくように取り組んでいきたいと思います。
- ・児童の「まいにちかていてくしゅうをしている」の項目で、20%の子どもたちが「毎日家庭学習をしていない」という結果となっています。家庭学習は学校での復習が中心となっていますが、これからを生きる子どもたちに何が必要なのかと考えると、「自分で課題を見つけ、解決する力」はかかせないのではないかと考えています。今後は、学校から提示する宿題の質や量を各学年で再検討し、自主学習も含めた「新しい家庭学習の在り方」を保護者の皆さんとともに検討していかなければと思っています。
- ・教職員の「子ども主体の学び合いの場を設定している」が大幅にアップしています。授業の中での「なぜ?」を大切にし、子どもたち自身が協力して課題解決に向かうことができるような進め方を意識してきた結果だと考えています。学校でのこうした小さな取組が子どもたちの確かな学力の積重ねにつながっていくように、しっかりと学校体制で取り組んでいきたいと思います。

アンケートの結果から、やはり保護者、学校が一体となって、子どもたちの成長にかかわっていくことの大切さを感じます。立場は異なりますが、「子どもたちの未来のために」という同じゴールに向かって、現状を共有し、やわらかく温かな寄り添い方を考えていきたいですね。

学校より

- ・行事については、コロナ禍で実施することができなかったものもありますが、学校全体の教育活動を計画する中で形式が変化しているものもあります。また、コロナ禍で保護者の皆さまがお子たちをご覧いただく機会も激減してしまいました。今後は、子どもたちに必要な資質能力がしっかりと身につけられる学校行事を精選し、計画していきたいと思います。日々の子どもたちの様子をお伝えする方法についても、ホームページ等を活用するなど、今まで以上に工夫・改善に努めて参りたいと考えています。
- ・参観日や行事の時程等、連絡することが遅くなり申し訳ございませんでした。コロナ禍で直前の変更を余儀なくされることも多く、混乱を避けるためにギリギリまで待ってからの通知となっていました。来年度は、早いタイミングでお知らせすることができるようになると思います。
- ・いさつについては、大きな課題ととらえています。ただ、コロナ禍で「大きな声を出さない」「マスクをつける」という状況が長く続いたこともあり、「大きな声で元気に!」という声かけが難しくなっていました。表情が読み取りにくからこそ、いさつという一番最初のコミュニケーションの大切さを痛感しています。いさつの意味や意義も含めて、丁寧にじっくりと広げていきたいと思います。
- ・教科書等の持ち帰りについては、各学年で教室においておくものと持ち帰るものを決めています。今後は、タブレットの持ち帰りなども含めて、「子どもたちがより身軽で安全に登校できること」「必要なものを必要なときに使えるような置き場所の管理」を検討していきます。

自由記述より

たくさんの方からコメントをいただきました。各クラスから何点かずつになりますが、紹介させていただきます。個別のお返事はしておりませんが、気になるところがありましたら学校までお尋ねください。

- ・担任の先生が1人1人をしっかり見て下さって、子供の苦手な所をサポートして下さって本当に感謝しています。
- ・担任の先生がしっかりされているので安心して任せられます。
- ・日々お忙しい中、担任の○○先生を中心に手厚くフォロー頂き感謝しております。しっかり連携頂いていることをより活かせるよう家庭で出来ることをしっかり行いたいと思います。今後とも宜しくお願ひ致します。
- ・苦手な事は予習復習してくださっているので、助かっています。
- ・子供の良い点やがんばるべき点など、個人懇談会の時にお話していただきありがたいと思っています。
- ・学習発表会がありませんが、今後も無いのでしょうか?合奏や合唱、劇でも昔の学芸会のようなものを早く実施してほしい。
- ・学習発表会を復活して欲しいです。
- ・コロナ禍になって、体育参観などできる範囲でしていただいているが、できれば運動会を経験させてあげたいです。
- ・コロナ禍でまだ難しい所もあると思いますが、体育祭などの大きい行事がない今、登校班だけでなく何か学年を超えた交流や縦割りの交流(関わり)がもてるといいなと思います。
- ・先生がこまめに話しかけて下さってるとの話を聞いています。ありがとうございます。
- ・あかんところは、引き継ぎ厳しくご指導いただきたいです。
- ・旗当番で横断歩道でたっている時、8割の子供が挨拶できていないのでいつも驚きます。自分の子供には旗当番で立っている人は皆の保護者であり、時間が無い中朝早くから立って下さっているから、しっかり挨拶をしなさいと教育しています。
- ・こちらから大きな声で声掛けしても殆ど返ってこないので、学校でももう一度指導して頂けたら助かります。
- ・学校と家庭と地域と、もっと協力して未来を担う子どもたちを育てていくことが出来るよう、具体的に取り組むべきではないかと思います。ぜひ学校を中心に、これからも桂川学区が明るく住んで良かった地域であり続ける事を願っています。
- ・もう少し、低学年の間は特に、友達に対しての思いやりを教育する場を設けて欲しい。
- ・下校時刻がクラスによってバラバラで、安全管理の面で心配です。
- ・学年によって宿題の量に差がありすぎる。長期休業など、学年間で調整してほしい。
- ・参観日や懇談会の詳細(時間帯)をもっと早く知らせて欲しい。(勤務先へ早めに伝えたい為)
- ・参観のお知らせをもう少し早く出してほしい。参観日が分かっていても、午後なのか午前なのか分かるのが遅いので仕事の休みが取りにくい。
- ・参観日について、学年ごとで日にちを変えるのをやめてほしいです。
- ・参観日が学年で分かれると、どちらかは仕事で休めず片方しか見られないので、地域で分けるなどしていただけるとありがとうございます。
- ・電話で問い合わせや相談をした時に、先生方が丁寧に向き合ってくれていると感じます。
- ・問い合わせや相談に、先生方ご丁寧に対応してくれていると感じています。
- ・毎日のランドセルの中身が重たすぎます。
- ・出来る限り家庭で使用しないものは学校に置けるようお願いします。
- ・各種対応や準備等々で、先生方のオーバーワークや自費負担などがあるのではと気にかかりますので、充実した学校生活に感謝しつつ、教職員の皆さまの負担が少しでも減るシステムになればいいなと思います。
- ・設備面に関しては、子どもたちがトイレに行きやすいよう、和式から洋式に変えていただけたらありがたいと思います。